

公益事業の効果報告書

実施者 (団体名)	河川塾実行委員会
実施事業名	河川塾 「半島と川と都市防災」
実施目的	昨年度までは、都市型洪水を念頭に「都市と川」をテーマとし、全国の県庁所在地と川の多面的な関わりを関東学院大学の宮村忠先生に講義いただきました。今後は、前回の河川塾で伝えきれなかった部分をピックアップして、次年度は特に日本の中でも水が豊富にはない「半島と川」に注目し講義をお願いしています。河川塾を開催する江東低地(墨田区、江東区、江戸川区の一部)の「都市防災」をより有効なものとするためには、日常生活における防災、特に水害対策の充実が不可欠です。次年度は特に有事の際に水が使えなくなった場合を念頭に置き、全国の「半島と川」の日常的な関わりの中からは、江東低地における防災に役立つことが多く学べるものと考え、本事業を企画しました。江東地域の住民の方々に、水害に直接関係することだけではなく、「川の文化」もあわせて学び、忘れられつつある都市と川の多様性を見つめるなかから、水防や治水に関する知恵や知識に対する理解を地域の方々に深めてもらい、安全・安心な地域社会づくりに貢献することが本事業の目的です。
実施場所	江東区森下文化センター(6月まで) 芭蕉記念館(7月から)
実施日 (期間)	河川塾は平成27年4月～平成28年3月まで計12回
参加人員	毎回スタッフ4～5人と参加者30人程度、事前視察10人程度 (のべ約400人)
実施内容	月1回の河川塾では、2部構成として1部は、主に宮村忠先生がこれまで数々訪れた「世界の川」についてやその時点での旬の話を講義とし、2部では、「半島と川」についての講義をしました。まず、2部のスケジュールは次の通りでした。4月・荘内半島と川、5月・真鶴半島と川、6月・「復活の時(抱きしめてイスタンブール)」、7月・敦賀半島と川、8月・積丹半島と川、9月・企救半島と川、10月・若戸半島と川、11月・糸島半島と川、12月・大島半島(その1)と川、1月・大島半島(その2)・室積半島・熊毛半島と川。今年度も毎年好評の課外勉強会を事前に申込を受け付け、行ないました。今年度は5月に真鶴半島の事前視察でした。これらの課外勉強会は、バスをチャーターし、バスの中で宮村忠先生に解説をしていただきながら見学するという方法で行ないました。更に、市民防災まちづくり塾実行委員会が主催され、7月に行われた「荒川河川敷避難体験キャンプ」を協力という形でサポートいたしました。
事業の告知媒体 (告知方法)	主にホームページ
実施効果	1部では、ゲスト講師の方に本年度は1名いらしていただきました。各講師のお名前と内容は次の通りです。8月に東京大学名誉教授の篠原修様「北上分水堰の保存とデザイン」でした。また、9月からは東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻の准教授の知花武佳様に講義をお願いしました。そのほかの1部の内容は次の通りでした。4月・四国の分水(流域変更のモデル)、5月・近代の神奈川県(県西地区の位置付け)、7月・福井県の川事情―九頭竜ダム、金環蝕。9月以降の知花様の講義内容は次の通りです。9月・「これまでの私の川の見方とこれから～自己紹介を兼ねて～」、10月・「山地河川に見られるステップ・プール構造の河川間比較」、11月・「山間地河道に見られる岩盤・河床構造・河床材料の河川間比較」、12月・「丘陵地に見られる流域景観・河道特性の地域間比較」でした。固定の塾生はもとより、徐々に参加者が増えてきているのは、東日本大震災によって防災への関心がいまだ高まったままであるともいえますし、我々河川塾実行委員会の地道な努力の結果や塾生の方々のロコミの結果だといえるかと思えます。また、今年の課外勉強会は、1回しか行えませんでした。が「真鶴半島」の視察を行いました。バスの中で、宮村忠先生のレクチャーを聞き実際に現地を見るということで、参加者の皆様は色々思うところがあったようでした。参加者の皆様は改めて水防・治水・防災というものに真剣に取り組んでいくきっかけになったと思います。また、広報の一つにするべく「河川塾vol.3都市と川」をまとめたものの出版の準備をし始めております。出版するまでに年月がかかると思いますが、なるべく早くに出版できればと考えております。本年は鬼怒川の決壊が記憶に新しいですが、洪水はいつ都市部で起こるか分かりません。目の前にある危機であると言っても過言ではありません。都市と川と防災について河川塾に来られなかった方にも読んでいただき、皆様が住んでいる地域の特徴やその地域の都市に対する防災について考える材料にさせていただきたいと切に願っております。最後に市民防災まちづくり塾実行委員会が主催された「荒川河川敷避難体験キャンプ」を協力いたしました。防災に役立つロープワークや手旗信号・キャンプまで行なって、参加者の皆様に有意義な時間を提供できたと思います。今後は水防もそうですが、特に都市と防災ということに関して色々な知見を広報していくことの大切さを一層感じました。

実施状況



4月8日の講義の様子



知花武佳氏の講義の様子
(9月9日)



真鶴半島視察の様子



5月13日の講義の様子



9月9日の講義の様子



荒川河川敷避難キャンプ
での手旗信号の様子



6月10日の講義の様子



知花武佳氏の講義の様子
(10月14日)



7月8日の講義の様子



10月14日の講義の様子



8月12日の講義の様子



知花武佳氏の講義の様子
(11月11日)



篠原修氏の講義の様子
(8月12日)



11月11日の講義の様子